

令和5年度 杜の都のエコ・スクール活動報告

学校番号	57	学校名	仙台市立桜ヶ丘小学校	校長名	武田 理恵子
------	----	-----	------------	-----	--------

1 取組のテーマ、タイトル

環境の保全やより良い環境の創造に興味・関心を持ち、

課題を解決していこうとする実践的な態度を培う。



2 取組紹介

<学校花壇・学年花壇での植物の育生>

本校では学年ごとに花壇があり、春と秋の年2回、子供たちの手で花壇に花を植えています。自然に親しんで愛着を持たせたり、責任を持ってやり遂げることや協力することを学ばせたりすることを目的としています。夏には、サルビアやマリーゴールド、ペゴニアを、秋には葉ボタンとパンジーの苗を植えました。花への水やりは、環境委員会の児童が、休み時間に毎日交代しながら行っています。みんなで植物を大切にしようという意識が高まりました。

<「環境」の学習>

4学年は、総合的な学習の時間で「環境」をテーマに学習しています。今年度は「守ろう桜ヶ丘、創ろう未来の桜ヶ丘」をテーマに活動しました。前半は、桜ヶ丘の地域に自生しているニホンタンポポについて調べ、それらが育つ環境を守るための取り組みについて考え、調べる活動を行いました。自然豊かな桜ヶ丘の環境を、守っていくためにどんなことをしたらよいかについて考えました。環境を良くするために、各家庭で取り組んでいることを共有し、良い取り組みについては、休みの日を利用し、実践を行いました。

また、「地球温暖化」や「プラスチック問題」など、今、世界ではどのような環境問題が起きているのかを調べ、解決するための取り組みについて考えました。2月の学習発表会の中で、発表を行いました。発表の際には、学校や家庭、地域で継続的に実践できるような内容になるように表現を工夫しました。このような取組が、家庭や地域の方々へ広がっていければと考えています。

<地域の方との公園探検>

昨年に引き続き、「青葉の森緑地」管理センター自然解説員（レンジャー）の方を講師にお招きして、低学年の先生や地域の方々と桜ヶ丘公園の探検を行いました。桜ヶ丘公園内の花壇には、桜ヶ丘小学校の児童と地域の方々と一緒に花を植えた花壇もあります。児童は、桜ヶ丘地区は自然が多いという意識を多く持っています。この公園が地域の方々に大切に守られていることも大きな理由の一つと考えられます。実際に公園を探検し、園内にある植物や生き物について、専門的な視点で解説をして頂くことで、改めて、桜ヶ丘公園のよさに気付かされました。レンジャーの方々から教えて頂いた内容は、子供たちの気付きを深め、自然を大切にすることを育むことへとつながっています。

<節電や節水、ごみの分別>

環境委員会の活動の一つとして、校内に、環境委員会で作成したポスターを掲示するなど、節電や節水を呼びかける活動を行いました。また、プラスチックごみの分別や紙の再利用などに学校全体で取り組んでいます。各教室にゴミ箱を2つずつ置き、日常的にごみの分別に取り組んでいます。低学年のうちから、分別やリサイクルの意識を高めていくことにつながっています。

3 取組の成果

児童が、花の育成に関わることで、生き物を大切にしようとする気持ちを持つことができている。また、環境委員会を中心とした花壇の手入れや呼びかけ、環境問題をテーマにした、4年生の総合的な学習の時間の継続によって、自然環境を大切にしようとする意識が高まっています。児童が主体的になって、発信していくことを、今後も継続的に実践していきたいと考えています。